

ジオパークで
地域に活力を!!

ジオパーク推進だより

下仁田町自然史館
下仁田町大字青倉158-1
☎70-3070 FAX67-5315
<http://www.shimonita-geopark.jp/>

下仁田化石探検隊 アンモナイト発掘調査 開催のお知らせ

化石探検隊が発見したアンモナイトが、先日の古生物学会で報告され、種の同定、生息年代が決定しました。下仁田のアンモナイトが見つかる地層は、クリッペを構成する白亜紀の海成層（跡倉層）で、この地層がどこから動いてきたかはいまだに分かっていません。

今回の発見は、クリッペのふるさと探しの大きな手がかりになりそうです。化石探検隊としては今後、標本数を増やし、跡倉の海がどんな海だったのかを明らかにしていきたいと考えています。発掘調査にふるってご参加ください。

※発見した化石は、下仁田町自然史館の貴重な標本として保存します。

日時：7月2日（土）9：00～14：00

集合時刻：9：00 下仁田町自然史館

調査箇所：四ッ又山周辺

持ち物：軍手、昼食、飲み物、帽子、動きやすい服装、動きやすい靴（調査道具は自然史館でお貸しします。）

対象：小学校3年生から大人まで（小学校2年生以下は保護者同伴参加可）

募集締め切り：6月25日までに下仁田自然学校へお申し込みください。

下仁田ジオパークガイド養成講座参加者募集

下仁田ジオパーク講座を開講しています。第1回、第2回に参加していない方も受講可能です。楽しくジオパークについて学びましょう！

※この講座は平成28年度下仁田ジオパークガイド養成講座の単位にもなっています

【日程】

〈荒船風穴・神津牧場コース〉

第3回	6月11日（土）	現地研修
-----	----------	------

〈町なか散策コース〉

第4回	6月25日（土）	現地研修
第5回	7月9日（土）	ガイドをやってみよう

〈妙義山 石門巡りコース〉

第6回	9月19日（祝・月）	現地研修
第7回	10月2日（日）	ガイドをやってみよう

※下仁田町自然史館までお電話でお申し込みください

ネギとコンニャク・ジオパーク

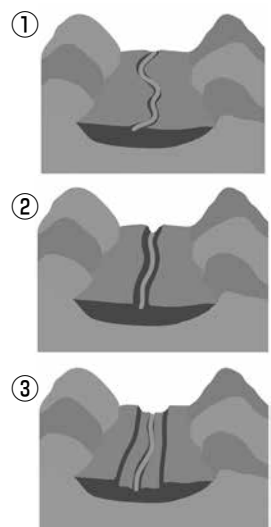
馬山の段丘

12日（日）に下仁田あじさい園が開園します。あじさい園がある場所は竈川が作った河岸段丘の中です。河岸段丘とはなんのでしょうか？河岸段丘は川に沿ってできる階段状の地形です。河岸段丘のでき方は、①川が土砂を運び平地を作ります。②土地が隆起すると流れる水の力が大きくなり地面を削る力が大きくなります。すると、もとの河床を掘り下げ、川は以前よりも低いところを流れます。③川が土砂を運び新しい平地を作り、もとの平地は残るため階段状の地形ができる。といわれています。

あじさい園の高台から見えている谷は竈川が削ったものだと思うとおどろきですね。ぜひ、あじさい園からその景色をながめて自然のパワーを感じてみてください。

※下仁田町自然史館では、午前9時から午後4時まで展示室を開放しています、ぜひお出かけください。

※6月の休館日は6日・20日です



問合せ先 教育課ジオパーク推進係(下仁田町自然史館) ☎70-3070

ジオパーク応援団だより

第11号 | 2016.6.1

——町内にあるぐんま百名山——

里見哲夫

下仁田町は総面積の85%が森林原野です。下仁田町の東側を除き周囲は高い山々に取り囲まれています。最高峰は稲含山の後方にある白髭山の1512mです。「ぐんま百名山」は県環境・森林局自然環境課が選定委員会を設け、平成18年に「ぐんま百名山選定記念・わたしの百名山物語」を刊行しました。その理由は、スポーツ・レクリエーションとして山に登る人が増加し、ふるさとの山を知り、山への思いを広めたいとの小寺知事の提言によって選定が進められました。私も選定委員を務めました。県内には日光国立公園、上信越高原国立公園、妙義荒船佐久国定公園等があって多くの有名な山々があります。また、県立公園や低山でも信仰や憩いの場として親しまれている山もありまして、地域にかたよりの無いように選定をするのに苦労しました。特に上毛三山や国立や国定公園内には幾つも山があるために、一括して赤城山、榛名山、妙義山などとまとめをしました。選定には3年間かけて段階的に選定をして、最後にバランスをとって慎重に決定をしました。その結果町内で決定をみたのは次の山々です。大桁山(836m)、御堂山(878m)、妙義山(1104m)、日暮山(1207m)、物見山(1375m)、荒船山(1423m)、物語山(1019m)、鹿岳(1015m)、四ッ又山(1019m)、小沢岳(1089m)、稲含山(1370m)等です。地図を開いて町内のどの辺に位置しているのかを確かめてみてください。それぞれみんなおもむきのある山々です。中には信仰の山として山頂をはじめ各所に石仏の多い山もあります。大きな石仏が山頂に祭られている山もみられます。また、植林も山の上の方まで見られ、苦労された人々の跡を忍ぶことも出来ます。春の季節にはアセビやアカヤシオ(一名ヒトツバナ)、トウゴクミツバツツジの紫紅色、ヤマツツジの赤色やサラサドウダン、アブラツツジ等の綺麗な花も楽しみの一つです。秋の紅葉も楽しめます。自信のある方は登ってみてください。私は幸いにこれらの山々は全部登って、植物の調査も実施しています。また、ぐんま百名山も90の山々を登りました。残念ながら日光白根山には登る機会を失ってしまいました。思い出すのは上越の高い山々や奥多野の山々で、県の学術調査で一週間程テントを張って歩いたことも有ります。利根源流の調査では、8月まだ雪渓があってその上でテントを張ったこともありました。近年は特に、高齢者の登山が多く見られるようになりました。そのため事故も発生していますのでくれぐれも注意して無理をしないように山を楽しんで下さい。

【季節の花】 ヤマボウシ

ヤマボウシ(一名・ヤマグワ)花は、小さな花が20~30個集まって球形をしています。その周りに白い花びらのように見えるのは花を保護する役目をしている総苞片で、花ではありません。果実は熟すと食べられます。小正月にまゆ玉をさす木として知られています。



6月の ジオ(20)の日美化活動

日時 6月20日(月) AM6:30~7:15

場所 馬山あじさい園周辺 下仁田インター北側駐車場

*作業しやすい服装でお願いします(軍手は各自で準備願います)。

*6月4日(土)、5(日)午前8時20分から地元紫陽花を育てる会が、あじさい園内の草刈りを行いますので、ご協力をお願いします。

4月の「ジオの日」清掃美化活動行われる!!

4月20日(水) 早朝6:30よりさくらの里において総勢20余名のもとに管理事務所を筆頭にさくらの里一帯を手分けして限られた時間内にゴミ拾いをしました。

さわやかな汗した後は、里見団長による桜鑑定会。フクロクジュ・ギョイコウ・オモイガワ等々、花々がひときわ朝日に輝き皆の心を癒しておりました。

ジオの日美化活動、皆様のご参加をお待ちしております!



平成28年度日本ジオパーク下仁田応援団定期総会開催される!

4月20日(水) 午後7時より町公民館大会議室において、ご来賓はじめ大多数の団員出席のもとに日本ジオパーク下仁田応援団の定期総会が開催されました。ジオパーク関係が今年度より教育部局に戻り、再認定に向けて応援団活動を高めること、開催地としての関東大会成功に向けた協力等、熱心な審議がなされました。総会終了後には、里見哲夫先生による基調講演“明治期の鉄道敷設について”と題し、時代の産業開発と共に歩まれた鉄道の歴史をご講演頂きました。



読売旅行520余名来訪!

4月23日(土) 正午を前後しておよそ3時間ほど町の人口が五百名ほど増えました。赤レンガ倉庫前では、荒船太鼓が旅行者皆様を意気高揚と出迎え歓迎のレセプションに驚きながらも感動され、応援団のガイドに暫し耳を傾ける方もいれば、チンドン屋の音につられレトロな街並みに向かわれる方、様々な人模様でした。

昭和の栄華を誇った町中でランチを楽しまれたご一行は、帰り際の思わぬプレゼントに喜ばれ、私たちに再びの来訪の思いを言葉に残して車中の人となりました。



再認定に向けて応援団活動を高めましょう!!